

MAX STUDY GROUP

Vol. 7 2016年6月11日

第7回 レポート

A テーマ設定

今回は、第6回で企画をした中2・グローバルキャリアの報告会、振り返りがメインとなりました。詳しくは第6回のレポートをご覧ください。

B コンテンツ

1 アイスブレイキング

今回のアイスブレイキングは犬飼先生が担当してくれました。
まず、各自にワークシートが配られ、こういう指示が出ました。

最近達成したこと、頑張ったことを1つ書いてください。
そして、それに関する情報を3つ書いてください。

(名前) _____ さん ←書きかけてはいけません

※達成したこと/がんばったこと/自慢したいこと/褒めてもらいたいこと
を書いてみてください。

□

※追加情報

○ _____

○ _____

○ _____

ワークシート

犬飼先生が1つご自身の例を出してくれました。娘さんのランチョンマットを手作りで作成した、というプチ達成感です。大きな達成じゃなくて良いので、日常の取るに足らないことでも「頑張ったなー」と思うことを1つ書いてください、ということです。。。うーん、とは言っても、急に言われるとなかなか書けません。意外と難しいな、と思いながら私が書いたのは、「朝4時から夜ご飯のカレーを作った」ということです。1週間分のサラダも作り、娘の食事も作り、洗濯もし、、、など。ただ単にヨーロッパ出張によるひどい時差ボケで夜中に目が覚めたのできまぐれにやっただけのことでしたけど、プチ達成感という点ではいいチョイスだったかもしれません。

次に、2人1組に分かれたのですが、犬飼先生から出た指示は「片方がインタビュアーになって、もう片方にヒーローインタビューをしてください。」、、、、何？私はカレー作ったことをヒーローインタビューで答えるのか！？みんな、同じ気持ちだったと思いますが。

時間を区切ってペアヒーローインタビューが始まりました。こうなったらもう役になりきるしかありません。最初はぎこちないし、やや恥ずかしいのですが、話し続けていくと、どんどん気持ちが解放されていきます。またインタビューアーとしては、「次に何を聞こうか、どう引き出そうか、どう広げていこうか」といろいろ考えながら臨みます。スポーツのヒーローインタビューとか見ていると、ときどきインタビューアーの賞もない質問にあきれますが、実際やってみるとその難しさは分かりますね。



2 ペア目になると、みんな結構ノリノリで、いろいろなところで笑いが起きました。私も相手が渡辺大輔先生といういじりやすい相手だったので、いろいろ突っ込みながらインタビューしました。彼は「部屋の掃除を頑張った」ということだったので、「渡辺さん、今日のお掃除、見事でした！」なんて言いながら、マイクを突き出しました。最後には「今日の掃除を見守ってくれたファンの方へ一言」なんてふざけたりして。インタビューが終わると、

数ペアから活動報告がありました。ニュース口調でインタビュー内容を報告してもらった場面もあつたりして、和やかに過ぎていきました。

その後、犬飼先生から、このアクティビティの2つの意図が説明されました。

① インタビューする側には、他に対する関心を持って欲しい

個ばかりが強調されやすい現代の中にあっても、他の人への関心を忘れずにもって欲しいと考えました。

② インタビューを受ける側には、「自己肯定感」を持ってほしい

自分の良いところは恥ずかしくて表現するのを控えてしまったり、もしくはネガティブなところばかり話してしまいがちだけれども、小さなことでも良いので、自分の良さを表現するということに馴れてほしいということです。自分の存在意義について肯定的に捕らえて欲しい、極端なことを言えば、「自分なんて必要とされない存在だ」などと思うのではなく、自分のいいところを表現することで「自分の存在価値」に改めて気付いて欲しい、という思いもあります。

なるほど、確かにインタビューアーをしているときは、上記のとおり、相手の良いところを引き出そうと考えて話をしていました。相手を主役にして話を続けると言うのはなかなか難しい作業で、その人に注意を払わないと、インタビューできません。また、日本人は特に「〇〇の反省」というと悪いところばかり出してしまっていますが、私も生徒にもよく言いますが、「良いことやできたことを見つけることも反省」ですよ。そういう意味では、私たちは自分の良いものを表現するというのが、特にその良いことが小さければ小さいほど、苦手なのかもしれません。

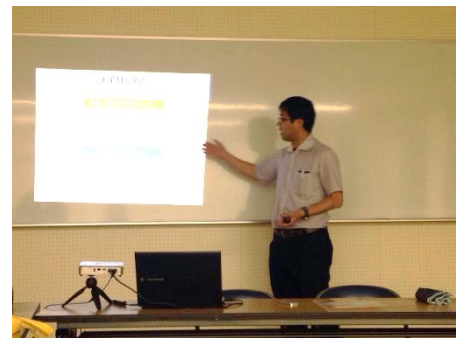
最後に、席に戻ろうとする犬飼先生を捕まえて、「今日のアイスブレイキング、素晴らしかったですね」と逆ヒーローインタビューをして、アイスブレイキングが終わりました。

2 6月3日 中2対象グローバルキャリアセミナー 実践報告

今回のメインは、前回の勉強会で企画運営した宮城県の中2対象に行ったグローバルキャリアセミナーの報告と振り返りです。またこれについては、レポートを書きたいと思いますので(おそらく)、ここでは割愛をします。

当日、MAX 勉強会から一緒にセミナーに参加、見学してくれた先生も5人いましたので、皆さんからその時の様子なども語ってもらいながら、皆さんに報告しました。(このために8万のミニプロジェクターを買いましたよ！⇒)

セミナーは上々だったと感じています。前回の勉強会でみなさんに課題を議論していただいたり、案を練っていただいたことがとても良い下地になったと感謝しています。いろいろところで皆さんの案や提言を入れさせてもらい、私自身多くの気づきをいただきました。改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。



C 次回に向けて

次回は「大学入試改革の作業部会」を行います。大学入試改革は教育界のホットテーマの1つですが、私たちも具体的にはまだ理解しきれいていません(文科省のほうもまだ雲をつかむような話しか出していないということもあります)。「今の中2からセンター試験がなくなり、こういうテストが始まります」「思考力、表現力、判断力」などが評価されます。。。そんな新聞に載っていてサラリーマンでも感覚で言えそうなこととか、意外と私たち教員も言えません。いや、それすらはつきり言えずにごまかしながら言っているところもあると思います。

そこで、ワークショップという前に、まずみんなで資料や情報を持ち寄り、その前段階としてリサーチをしようという会です。なので、「作業部会」です。目標は、「まず私たちが何が起きていて、何が提言されていて、どういう方向性に向かっているのか、具体的な資料を当たりながら、理解し、説明できる」ということです。

その中で、私が行っている英語外部試験ガイダンスや学内テストの共有をしたりしていきます。

D Review and Reflection

今回は報告会だったので、アイスブレイキングの部分についてのみレビューを書いてもらいました。グローバルキャリアセミナーについては、企画にあたり、当日セミナーに参加した渡邊先生、米倉先生、犬飼先生に別途レビューを書いてもらっていますので、そちらを楽しみにしていきましょう。

渡邊奈緒子先生

今回のアイスブレイキングは、自分の達成したこと、頑張ったこと、自慢したいことについて書き、それをヒーローインタビューしてもらおうというものでした。私はなかなか見つからず、本当に小さな自慢に留まりました。しかし、インタビューア役が色々聞いてくれたので、まるで偉業を達成したかのように感じられ、少し調子に乗りました(200mを完走したという程度のものなのに)その後、役割交換をして、インタビューア役をしました。初対面の方とペアで、上手く話を聴けたか微妙なところもありましたが、制限時間を過ぎても続けてしまうぐらい、自然に次々と質問が出てきました。

犬飼先生の狙い通り、ヒーローとしては自己肯定感を感じることができ、なお聞き手として相手に対して興味を持つことができました。そして、最後に今回のアイスブレイキングについて、関先生から犬飼先生へのヒーローインタビューが急きょ行われました。予期せぬお返しに戸惑いながらも、ご自身のパートを終えてほっとした様子のヒーローに大きな拍手が送られました。生徒たちにもすぐに還元したいと思う温かいアイスブレイキングでした。